

令和8年(1月～3月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告（休業4日以上死傷災害）により作成

※()内の数値は死亡者数（内数）を表す

※ 新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

(1) 業種別の労働災害発生状況（対前年比）

【表1 業種別の労働災害発生状況】

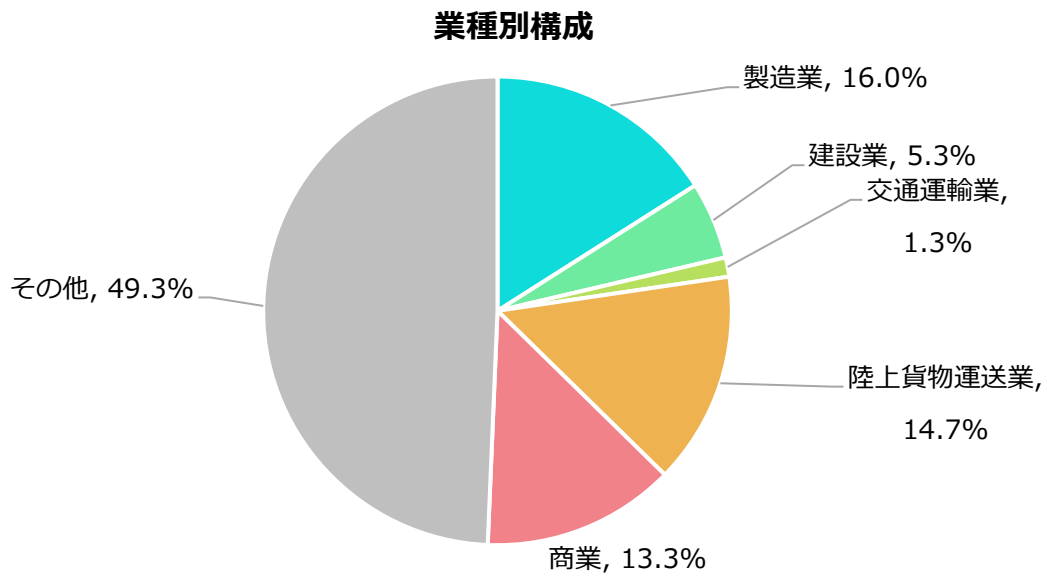
伊丹労働基準監督署

業 種	令和8年(1月～3月)		前 年 同 期		前 年 比 較	
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全 産 業	75	100.0% ()	70 (1)	100.0% (100.0%)	5 (-1)	7.1% (-100.0%)
製 造 業	12	16.0% ()	19 (1)	27.1% (100.0%)	-7 (-1)	-36.8% (-100.0%)
鉱 業		()		()	()	- (-)
建 設 業	4	5.3% ()	5	7.1% ()	-1 ()	-20.0% (-)
交通運輸業	1	1.3% ()	2	2.9% ()	-1 ()	-50.0% (-)
陸上貨物運送業	11	14.7% ()	7	10.0% ()	4 ()	57.1% (-)
港湾運送業		()		()	()	- (-)
農 林 業	2	2.7% ()	2	2.9% ()	()	(-)
畜産・水産業	1	1.3% ()		()	1 ()	- (-)
商 業	10	13.3% ()	16	22.9% ()	-6 ()	-37.5% (-)
金融・広告業		()	2	2.9% ()	-2 ()	-100.0% (-)
映画・演劇業		()		()	()	- (-)
通 信 業	4	5.3% ()	1	1.4% ()	3 ()	300.0% (-)
教育・研究業		()		()	()	- (-)
保健衛生業	16	21.3% ()	11	15.7% ()	5 ()	45.5% (-)
接客娯楽業	7	9.3% ()	2	2.9% ()	5 ()	250.0% (-)
清掃・と畜業	2	2.7% ()	2	2.9% ()	()	(-)
官 公 署		()		()	()	- (-)
その他の事業	5	6.7% ()	1	1.4% ()	4 ()	400.0% (-)

【図1 業種別構成】

令和8年(1月～3月)

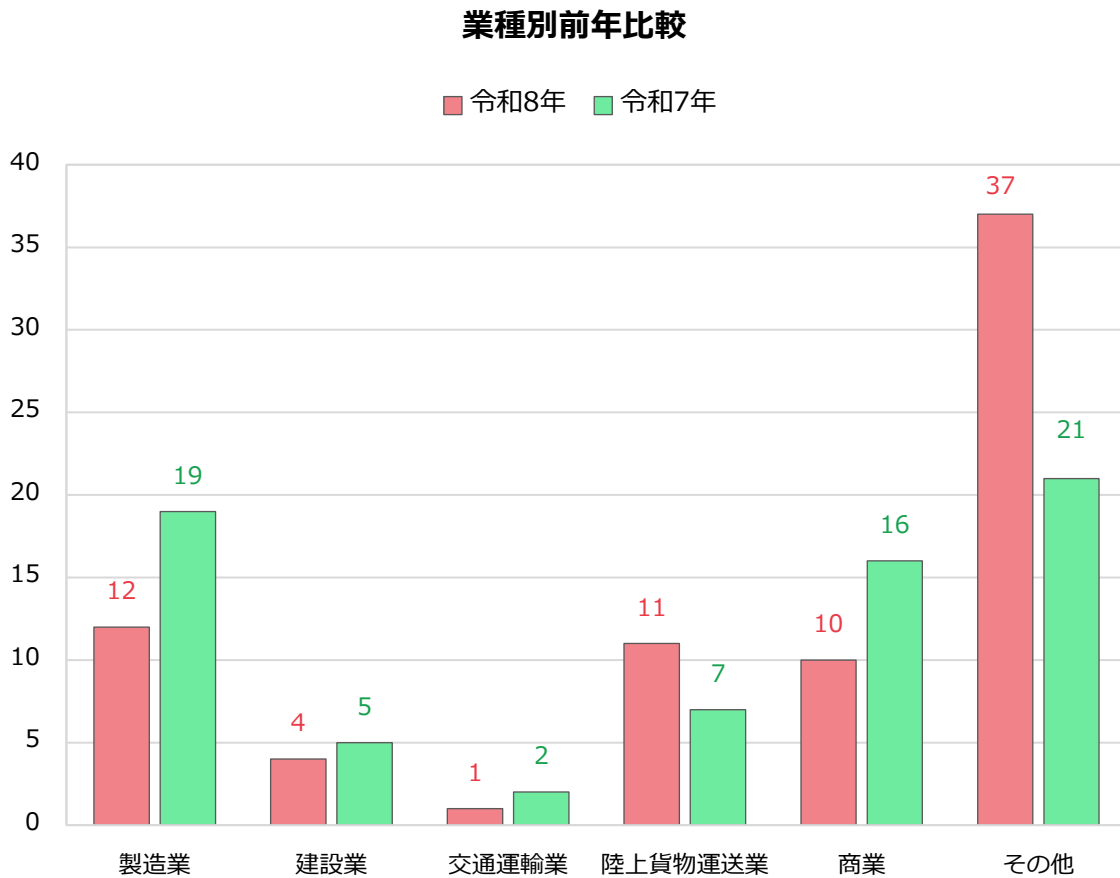
伊丹労働基準監督署



注) 集計表の合計値は、四捨五入した数値の合計のため、必ずしも100.0%となるとは限りません。

【図2 業種別前年対比】

1月～3月の前年比較



(2) 業種別事故の型別の労働災害発生状況
 【表2 業種別事故の型別労働災害発生状況】

令和8年(1月~3月)
 伊丹労働基準監督署

事故の型 業種	※ 墜落、 転落	※ 転倒	激突	飛来、 落下	崩壊、 倒壊	激突され	はさまれ、 巻き込ま れ	切れ、こす れ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温 の物との 接触	有害物等 との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故 (道路)	交通事 故(その他)	※ 動作の 反動、 無理 な動作	その他	分類 不能	合計
製 造 業	2	4		1			2	1											2			12
鉱 業																						
建 設 業	1	2				1																4
交 通 運 輸 業																	1					1
陸上貨物運送業	3		1		1	2													4			11
港 湾 運 送 業																						
農 林 業			1		1																	2
畜産・水産業																			1			1
商 業	1	4	1	1		1	1												1			10
金融・広告業																						
映画・演劇業																						
通 信 業	2																2					4
教育・研究業																						
保健衛生業	1	2	2														2		6	3		16
接客娯楽業	1	3	1			1		1														7
清掃・と畜業		1					1															2
官 公 署																						
その他の事業	1	3															1					5
全産業合計	12	19	6	2	2	5	4	2									6		14	3		75

※次ページに、各項目の内訳有り

(3) 業種別事故の型別（墜落、転落 / 転倒 / 動作の反動・無理な動作）の労働災害発生状況

令和8年(1月~3月)

【表3 業種別事故の型別（墜落、転落 / 転倒 / 動作の反動・無理な動作）労働災害発生状況】

伊丹労働基準監督署

事故の型 業種	墜落、転落（合計）		転倒（合計）	転倒（合計）					動作の反動・無理な動作（合計）	動作の反動・無理な動作		
	（2メートル以上）	（2メートル未満）		（転倒（滑り））	（転倒（つまずき））	（転倒（踏み外し））	（転倒（もつれ等））	（転倒（その他））		（腰痛）	（転倒もどき）	（その他）
製造業	2		4	2	2				2	2		
鉱業												
建設業	1		2	2								
交通運輸業												
陸上貨物運送業	3		3						4	3		1
港湾運送業												
農林業												
畜産・水産業									1	1		
商業	1		4	1	1	2			1	1		
金融・広告業												
映画・演劇業												
通信業	2		2									
教育・研究業												
保健衛生業	1		2	1	1				6	5		1
接客娯楽業	1		3	2	1							
清掃・と畜業			1				1					
官公署												
その他の事業	1		3		1	1		1				
全産業合計	12		19	8	6	3	1	1	14	12		2

(4) 業種別起因物別の労働災害発生状況
 【表4 業種別起因物別労働災害発生状況】

令和8年(1月~3月)
 伊丹労働基準監督署

業種	起因物																							分類不能	合計					
	原動機	動力伝導機	木材加工用機	建設用機械	金属加工用機	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	食品加工用機	農業機械等	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	压力容器	化学設備	溶接装置	炉窯等	電気設備	人力機械工具等	用具	その他の装置、設備	仮設物、建築物、構築物等	床面、通路	危険物、有害物等			材料	荷	環境等	その他の起因物	起因物なし
製造業					1	1					1				1			1			1	4			1			1		12
鉱業																														
建設業																					1	2		1						4
交通運輸業											1																			1
陸上貨物運送業											4							4											3	11
港湾運送業																														
農林業																								2						2
畜産・水産業																												1	1	
商業											3							1	1			4						1	10	
金融・広告業																														
映画・演劇業																														
通信業												1									1	2								4
教育・研究業																														
保健衛生業												1									1	5						9	16	
接客娯楽業											1										1	3		1		1			7	
清掃・と畜業											1																	1	2	
官公署																														
その他の事業												1									1	3							5	
全産業合計					1	1					10	4			1			6	1		6	23		4	1	1		16	75	